

多数の事例を学び自分の職場の改善につなげる「実践型」研修

改善のプロから学ぶ 実践型業務改善研修

1日
(7時間)

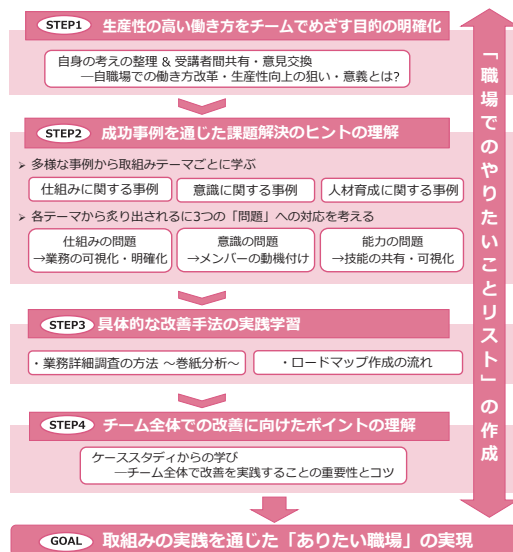
💡 期待される効果

管理・間接部門や労働組合などにおける業務改善手法を学べます

他社事例や巻紙分析等の具体的な改善手法の学習、やることリストの作成を通じ、職場での実践につなげます

数百もの改善活動を支援したコンサルタントから、実践のポイントと考え方を学び自分の職務の改善に活かします

プログラム構成



講師のコメント 三枝 久芳



管理・間接部門の業務に“ムダ・ムリ・ムラ”があることを感じているのですが、どのように解決したらよいのか困っている企業が多いのではないのでしょうか。様々な組織で業務改善支援を行う中で得た、成果を出すためのノウハウ、効果を出すためのポイント、改善手法についてお伝えします。

受講生の皆さんが、自分の職場で業務改善を実践できるようになることを狙いとした研修です。

受講者の声

- 生産性向上・働き方改革の目的やポイント、具体的な取組みを体系的・実践的に理解できた。
- 業務改善・効率化を行う上でチームが一丸となること、そしてそのためにリーダーが行うべき働きかけが何かが理解できた。
- 具体例（改善事例）の説明と演習が良いバランスだった。学習した業務改善手法（巻紙分析等）は自職場で展開したいと思った。

開催日程とスケジュール

通い1日

2025年

第15回 7月10日（木）

第16回 12月4日（木）

9:30

9:30 開始

1. 働き方改革と労働生産性

- ・ 働き方改革とは一狙いを明確にする
- ・ 労働生産性

2. 業務効率化取組み事例紹介

- ・ 多様な企業規模・業界での取組事例からの学び
 - 仕組みに関する事例
 - 人材育成・能力に関する事例
 - 意識に関する事例
 - 新たな働き方に向けた工夫

3. 労働生産性向上の着眼点

- ・ 働き方改革が難しい理由
 - 意識の問題
 - 仕組みの問題
 - 能力の問題

4. 労働生産性向上の手法

- ・ 労働生産性向上活動の進め方
 - ロードマップ作成・対象業務設定
 - 業務詳細調査～巻紙分析～
 - 改善案策定・改善活動実施

5. 実践のポイント ～チームワークによる実践～

- ・ ケーススタディ「モンタナの森林火災」

6. 振り返り～明日からの実践に向けて～

- ・ リーダーの役割とお勧めする考え方
- ・ やりたいことリストのまとめ・共有

17:30 終了

17:30

1名あたり 参加費
(消費税10%込)

賛助会員

39,600円

一般

44,000円

昼食のご用意は
ございません。

講師：日本生産性本部 主席経営コンサルタント 三枝 久芳
会場：日本生産性本部セミナー室（東京・永田町）他
定員：30名

本研修受講後の推奨プログラム

- ①ロジカルシンキング研修（P.60）
- ②ロジカルライティング研修（P.61）
- ③【ケーススタディで学ぶ】問題解決力向上研修（P.48）